

香川県農業信用基金協会



1 香川県の紹介

香川県は四国の北東部に位置し、南側は讃岐山脈を挟んで徳島県と接しており、北側は瀬戸内海に面していて、瀬戸大橋で岡山県と繋がっています。

総面積は全国で一番小さい都道府県ですが、人口密度が高く、加えて平地面積割合も高いことなどから交通網が発達し、県内何処に行くにしても、当協会事務所から概ね1時間以内に移動することができます。

古くは讃岐の国として栄え、平安時代には弘法大師空海を輩出したほか、大河ドラマ「べらぼう」に登場する平賀源内も当地の出身です。

「このたび香川県は、うどん県に改名致します」と全国CMを流すほど、讃岐うどんは全国的に有名ですが、江戸初期の回遊式大名庭園である特別名勝「栗林公園」や、海上交通の守り神として信仰されている「金刀比羅宮(通称こんぴらさん)」、最近では、日本のウユニ塩湖として注目を集める絶景スポット「父母ヶ浜」や、「高屋神社の天空の鳥居」などの観光地も数多くあります。

特に今年は「瀬戸内国際芸術祭2025」が、オリーブで有名な「小豆島」やアートの島「直島」など瀬戸内の島々を舞台に開催されます。3年毎に開催される現代アートの祭典で、今回が6回目。約100日間の会期は、春・夏・秋の3シーズンに分かれていて、季節ごとに瀬戸内の魅力が体験できます。

瀬戸内国際芸術祭の作品



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地
©YAYOI KUSAMA 画像転載不可
写真／青木 大輔



特別名勝「栗林公園」

2 香川県の農業について

当県は瀬戸内海式気候に属し、全国の主要産地にはボリュームでは劣りますが、太陽のめぐみを活かしてクオリティとバラエティが特徴といえる農業が営まれています。

まず、米麦ですが、県オリジナル品種の「おいでまい」は夏場高温多湿となる気候に合わせて開発されたお米です。また、

「さぬきの夢2023」は讃岐うどんに適した素材として開発された小麦です。

野菜では、こだわりの県産野菜22品目を「さぬき讃ベジタブル」とPRしており、レタス(ブランド名：らりるれレタス)やアスパラガス(同：さぬきのめざめ)などが有名です。

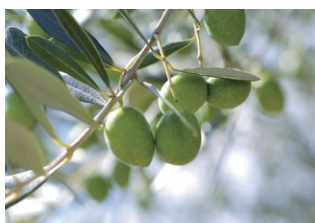
果物も、果皮が紅色の「小原紅早生」^{お ば ら べ に わ せ}などの柑橘類や、イチゴ（同：さぬきひめ）、キウイフルーツ（同：さぬきゴールド・さぬきキウイッコ）などが高糖度・高品質の「さぬき讚フルーツ」として出荷されています。

中でもオリーブの生産は日本で、「香オリ3号」・「香オリ5号」は、日本で初めて品種登録されました。

花きは、松盆栽が全国8割以上のシェアを占めているほか、マーガレット、カーネーション、ラナンキュラスなどの花きを

「さぬき讚フラワー」としてPRしています。また、生け花に情熱を燃やす高校生が集う「全国高校生花いけバトル」を、毎年当県で開催し、花文化の振興に貢献しています。

畜産も盛んで、令和5年の鶏卵生産量は全国12位、四国の鶏卵の約67%を生産しているほか、オリーブ採油後の果実を乾燥させた飼料を給与したオリーブ畜産物（オリーブ牛、オリーブ豚、オリーブ夢豚、オリーブ地鶏）のブランド化にも取り組んでいます。



生産量日本一のオリーブ



温州ミカン小原紅早生



さぬき讚フラワー
マーガレット



江戸時代から伝わる松盆栽

3 香川県農業信用基金協会の概要

当協会は理事8名(うち常勤1名)、監事3名、職員10名(うち出向者1名)で、総務課と業務課の2課体制で業務を行っています。

職員の平均年齢は37歳です。



4 香川県農業信用基金協会の活動

当県は単一JA県ですので、JA香川県・JA香川信連等と緊密に連携しつつ、保証業務に取り組んでいます。農業融資では信連が農業者に対して保証料助成を実施していますし、住宅ローンについても信連がJAに対し助成を行っていますので、ここ数年JAの融資残高は大幅に伸長しています。

こうした中、当協会の保証残高も順調に

増加し、令和5年度に初めて保証実残高が1千億円に到達しました。

令和7年2月には、全国版の保証審査システムが導入されましたが、引き続き保証審査業務の効率化、迅速化に取り組み、農業者・組合員等の利用者や、JA等融資機関から信頼され、利用される基金協会であるべく精進してまいります。